

問

代表・一般質問を平成25年2月21日、22日、25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

あがる はじまる 竹の塚

足立の未来に向けて

自由民主党

くづい 光治 議員



中期財政計画改訂を問う

【問】平成25年度から32年度までの8年間の財政フレームについて、基本的な考え方を伺う。
また、持続可能な行財政運営を行うために、どのような改革に取り組もうとしているのか。

【政策経営】歳入は、一般財源が計画期間前半では微減傾向で推移するが、後半での好転を見込む。歳出は、扶助費の伸びが続くに加え、高齢化の進展に伴う介護保険等特別会計への繰り出しの上昇も、施設更新経費の増加と合わせて財政圧力を大きく高める要因になると想定する。基金残高は減少を続け、財源不足回避のため、計画期間後半では、投資的経費等を中心に5%以上の縮減を課さなければならぬ状況と見込んでいる。

また、全職員がこの状況を正しく理解し、強い危機感を持って経営改革に取り組むことが不可欠となる。その上で、従来の経営改革手法を磨き継承するとともに、新たな手法も検討・導入していく。さらに、投資的経費をコントロールする上で、視点を示し、取り組んでいく。

【「憂いなし」の防災備蓄】
【問】区の防災備蓄品の確保状況はどうか。今後、備蓄物資保管場の確保や備蓄品の充実を図るべきと考えるがどうか。

【危機管理】避難生活者数の想定に基づき約22万人分の水、食料、毛布、マットのほか発電機、医療品等を、区内27カ所の防災倉庫等に備蓄している。今後も様々な備蓄品を充実する必要がある。加えて、倉庫そのものが使用できない事態等への備えや、支援物資の受け入れに要するスペースの確保等を推進する必要もあると考える。

孤立ゼロプロジェクトの進捗は

【問】①現在、先行モデルとして33の町会・自治会で高齢者の実態調査が始まっているが、進捗状況はどうか。
②今後、全町会・自治会に拡大していくが、どのくらいの期間での実施を見込んでいるのか。

【絆づくり】①民生委員等の関係機関が一堂に会した打合せ会を開催し、調査の進め方等を決定するとともに、個人情報取り扱いを確認し、早いところでは戸別の訪問調査が始まっている。

②今回のモデル調査の実施結果を踏まえ、概ね2年以内を目標に参画を促していく。

【生活保護不正受給対策の決意は】
【問】今回設置する生活保護適正実施協議会を踏まえ、不正受給対策に取り組む決意を伺う。

【福祉】協議会の答申をいただきながら、悪質な事例は告発するなど、不正は絶対許さない強い姿勢で厳正に対処していく。
被害を未然に防ごうと取り組む。

【問】建物倒壊危険度の高い地域の特定エリアにおける老朽危険家屋は大地震時のみならず、日頃から周回へ悪影響を及ぼす存在であり、特定エリア内では優先的に是正指導を進めるべきと考えるがどうか。

【建築】特定エリア内の老朽危険家屋件数は1千138件、区内全件数の約53%を占めており、積極的に是正指導を行っていく。
竹ノ塚駅付近鉄道高架化事業推進の課題は何か

【問】①工事が進むと、駅西口のバスルートはどうなるのか。
②来年度以降の財源確保の見通しを伺う。

【鉄道立体】①新たな駅前広場の整備まで、赤山街道のバス専用レーンで降車した後、駅入口交差点を右折してエミエルタワーを回り、線路沿いの道路から再び赤山街道に出た所で乗車するルートへ変更することになる。

②決して楽観できる状況ではなく、あらゆる機会を通じて、国・都に対し、継続的かつ安定的な財源確保を要請していく。
子ども・子育て支援新制度への対応を問う

【問】①この制度の基本的な考え方と、待機児童解消がどのように関わってくるのかを伺う。
②新制度のスタート時期及び区におけるスケジュールを伺う。

【子ども】①質の高い幼児期の教育と保育の総合的な提供、保育の量的拡大と確保、地域の子ども・子育て支援の充実を目的とする。待機児童解消に向け、二一調査を実施し、これに即した事業計画を策定し、地域の多様なニーズに対応することになる。区では、国等の動向を把握しながら待機児童解消アクション・プランとの整合性を図りつつ対応を進めていく。
②新制度は、平成27年度に本格スタートの予定である。区では平成25年度後半から二一調査等の準備に取り組んでいく。

様々な場面を想定し

命を守る防災対策を

自由民主党

鴨 下

穂 議員

水害も考慮した災害対策を

【問】荒川や綾瀬川がはん濫した場合、避難所となる学校の災害備蓄倉庫は1・2階に設置されている場合が多く、備蓄品は浸水で役立たなくなる。3階以上の教室や屋上に倉庫を移すことが必要と考えるがどうか。
また、区内の高層マンションオーナーやURの管理者に、避難場所として3階以上の通路等を一時提供するよう、区が地元町会・自治会との交渉や協定の橋渡しをすべきかどうか。

【危機管理】5mの浸水の予想地域では、3階以上への移設が望ましいが、避難所運営本部からは現状の1階を要望する声が多い。そこで、施設内での分散保管等を含め、各避難所運営本部へ水害対策を考慮した設置場所を検討するよう調整していく。また、協定可能な高層施設の選定を現在行っている。協定交渉について、地元要望に応じて橋渡し等の支援を行っていく。

【危機管理】現在、近隣の公的施設を避難所とすべく調整を進めており、近日中に提示する予定である。解体工事の開始までには避難場所として指定できるよう確実に準備を進めていく。



【危機管理】現在、近隣の公的施設を避難所とすべく調整を進めており、近日中に提示する予定である。解体工事の開始までには避難場所として指定できるよう確実に準備を進めていく。

将来を見据えた

まちづくりと産業の発展!!

自由民主党

金 田

正 議員

西新井大師への参道整備を問う

【問】①用地測量まで終了しながら、補助第253号線(「大師北参道」の延伸)の事業が進展しない最大の要因は予算上の問題

なのか。それ以外にもあるのか。
②西新井大師西駅から西新井大師へのルートは整備が進んだが参道であるとは分かりやすくするため、歩道をカラー舗装にする

